

あらかわ一義 市政だより

発行者 「礎」 荒川一義
平成 26 年 1 月発行 No.37
TEL: FAX 0767-57-8067
E-mail: k-arakawa@nanaonet.jp

笑心

そくさいかいね

=平成 25 年・第 4 回定例会=



新年あけましておめでとうございます。皆様には幸多き新春を迎えられた事と存じます。

昨年の 10 月 20 日に執行されました、七尾市議会議員選挙では、多くの皆様のご支援を賜り、当選させていただき心より感謝申し上げます。本来ならばお伺いしてご挨拶申し上げるべきところ、この書中にて失礼致しますことを深くお詫び申し上げます。

さて昨年は、直木賞「等伯」と共にスタートした 1 年でした。流行語大賞では、選ばれた 4 つの言葉の中の「おもてなし」は、七尾市にとってみれば「親しみ」と「なじみ」のある言葉で、新幹線金沢開業では、県民挙げての「おもてなし」がなされる事と思っています。又、今年の 10 月で、新市になってから 10 年となります。この事に伴い七尾市のシンボルを制定するための「七尾市シンボル等制定市民会議」が設置され、その素案が出来上がりました。3 月には制定の運びの予定ですが、新しい年を迎えるに当たり嬉しい話題であり、皆さんと共に楽しみにしたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

市長提案理由説明

▼平成 25 年・第 4 回定例会は 12 月 4 日～19 日迄の 16 日間の会期で開催されました。

▼市長提案理由説明では、平成 26 年度予算の編成方針が示され、財政状況が厳しい中「ふるさと七尾」の発展に資する重点施策については、引き続き、戦略的な財源配分を行うとしました。

【重点施策】

1. 「交流基盤充実の効果を最大限に活かす取り組み」…北陸新幹線金沢開業や能越自動車道・七尾氷見道路の全線開通など、平成 27 年春には、三大都市圏と 4 時間以内で結ばれ、ヒトやモノの交流が一層活発となり、七尾が元気になるように、官民協働で積極的に取り組みます。
2. 「地域資源を活かした産業振興」…本市の基幹産業である観光、医療、食品加工の分野を重点的に振興し、その効果が広く波及するよう促進します。6 次産業化や販路拡大等、地域産業を振興し、働く場の確保に努めます。
3. 「安全・安心・快適で暮らしやすいまちづくり」…引き続き、災害に強いまちづくりを進めると共に、子育て環境の充実や、生活基盤の整備などを進め、市民満足度の高いまちを目指します。
4. 「里山里海を守り育てる人づくり」…世界農業遺産に認定された豊かな自然を守り、伝統文化の担い手となる人材の確保を図るため、基礎学力はもとより、人を思いやる心や国際感覚を身につけ、ふるさと七尾に誇りと愛着を持つ子どもたちの育成に努めます。
5. 「簡素で効率的な行政運営と、協働のまちづくり」…行政運営全般にわたる見直しと、「自助・共助・公助」の役割分担により、人口減少が続く中であっても、持続可能なまちづくり体制を整備します。

▼平成 26 年度予算は、この視点に立ち、新たな財源の確保にも努めながら、選択と集中、創意工夫に満ちた予算となるよう取り組んで行くと致しました。▼今定例会は、一般質問の「一問一答方式」7 名、「一括方式」5 名、計 12 名が質問に立ち、活発な議論が交わされました。▼今議会の概ねについてご報告致します。

■平成25年度12月補正予算の概要



(1)一般会計の補正予算額 6億1,446万8千円の増額

①一般会計12月補正予算の推移

	12月補正予算額	12月補正後予算額	対前年度比
平成25年度	6億1,446万8千円	338億9,994万円	△1.9%
平成24年度	28億7,433万7千円	345億7,196万6千円	+9.6%
平成23年度	6億972万4千円	315億5,040万3千円	+1.4%

②財源内訳

国庫支出金	6,647万2千円	県支出金	1億259万6千円
分担金及び負担金	494万2千円	諸収入	7,087万3千円
寄附金	48万5千円	市債	2億2,910万円
繰入金	1億4,000万円		

(2)一般会計の主要事業

(千円)

事業名	事業内容	事業費	担当課
I 訪れたくなるまちづくり			
観光施設管理運営費	能登万葉マラソンのコース一部変更看板・誘導案内看板移設	2,161	観光交流課
合宿拠点整備事業	テニスコート整備(測量設計 A=3ha、用地購入費、仲介手数料)	144,127	
和倉温泉誘客事業	北陸新幹線金沢開業を見据えた温泉旅館施設整備助成	10,000	
II 安心・安全市民の暮らし			
消防無線デジタル化整備事業	H26年度予定であったが、前倒しで事業化。内容…城山中継所無線設備設置工事、衛生電話購入(2台)トランシーバー(100台)	80,011	消防本部 庶務課
障害者医療費助成事業	身体障害者更生医療費支給増額	38,749	福祉課
障害者自立支援給付	障害者介護給付金増額、障害者地域相談支援給付金増額	93,310	〃
児童福祉総務事務費	H24実績に伴う国庫負担金等返還金 子ども・子育て支援新制度に伴う電子システム構築等委託	9,709	子育て 支援課
健康増進施設魅力向上	健康増進センター「アスロン」の源泉ポンプの取り換え工事	2,079	健康推進課
III 活力溢れる地域産業づくり			
6次産業化ネットワーク活動推進事業	6次産業化ネットワークを構築して取組む〇地区の中で、必要となる加工施設・機械等整備助成 直売所等整備(スキョーム)	12,500	里山里海 振興課
IV 産業・交流・市民生活を支える社会基盤の整備			
農業集積協力金交付事業	担い手に農地を集積するため、その農地の出し手に協力を交付 交付対象…2戸	1,000	里山里海 振興課
新需給調整定着支援事業	生産調整及び経営所得安定対策の事務事業に係る経費、及び集落営農の法人支援に対する助成 対象地区…6地区	2,900	農林課
土地改良施設総務事務	県圃の新規採択に向けて従前地調査(能登島向田町地区)	6,442	
市単土地改良事業	ため池堤体の漏水修繕(万行町)	1,200	
県営圃場整備事業	負担金、換地清算金(西三階地区)	15,104	

市単漁港整備事業	下佐々波・百海漁港野積場(舗装復旧) 庵漁港沖防波堤	2,100	土木課
河川災害復旧事業	塩津川(コルゲートパイプ設置 L=20m)H25.9.2 豪雨災害	6,829	農林課
農業施設災害復旧	農地(多根地区)農業施設(笠師、小栗、江泊)	20,000	
林業施設災害復旧	城石線(工事費、委託費)城石線ほか 6 路線(機械借上げ等)	63,714	

(3)特別会計の補正予算額 1億 4,542 万 8 千円の増額

①各会計補正予算の概要

	補正予算額	主な内容
ケーブルテレビ事業	968 万 9 千円	道路整備に伴う施設整備の支障移転経費
国民健康保険(事業勘定)	1億 1,179 万 4 千円	前年度の国庫負担金の精算に伴う返還金
後期高齢者医療保険	90 万円	保険料の過年度更正に伴う還付金
介護保険	97 万円	第 6 期事業計画の策定に向けたニーズ調査
簡易水道事業	89 万 3 千円	浄水施設設備の修繕
下水道事業	1,706 万 8 千円	処理場施設設備の修繕
公設地方卸売市場事業	411 万 4 千円	定期配置換えに伴う職員給与費の整理
計	1億 4,542 万 8 千円	

②12 月補正予算の推移

	12 月補正予算額	12 月補正後予算額	特別会計の数
平成 25 年度	1億 4,542 万 8 千円	191 億 2,489 万 2 千円	8 会計
平成 24 年度	1億 420 万 2 千円	191 億 8,733 万 6 千円	8 会計
平成 23 年度	3 億 72 万 2 千円	182 億 8,419 万 6 千円	11 会計

(4)企業会計の補正予算額

①水道会計 693 万 4 千円の増額

	補正予算額	主な内容
収益的支出	903 万 9 千円	定期配置換えに伴う職員給与費の整理
資本的支出	△210 万 5 千円	定期配置換えに伴う職員給与費の整理
計	693 万 4 千円	

②病院事業会計 1,641 万 3 千円の増額

	補正予算額	主な内容
収益的支出	190 万円	職員給与費及び医薬材料費の実績見込み額
資本的支出	1,442 万 3 千円	地域医療連携、災害拠点病院としての施設設備の整備
計	16,41 万 3 千円	

※新年の『年賀状によるご挨拶』は、『公職選挙法』の規定に基づき、遠慮させていただきますのでご了承願います。



【議会質問】

今回の私の議会質問は「一年を振り返っての総括」「予算編成のあり方と改革」「子育て・子育て環境の充実」「上下水道事業」「シンボル制定」の5点22項目について質問しました。(一問一答方式)

■一年を振り返っての総括について



質問・・・①この一年の七尾市政をどう振り返り、来年をどんな年だと読むのか、抱負とあわせて伺います。
②この一年を言葉で表すとどの様な言葉となるのか伺います。

市長答弁・・・①今年は七尾が全国に打って出たスタートの年だと思っている。世界農業遺産の国際会議や皇太子殿下をお迎えしての全国農業担い手サミットの誘致、そしてスポーツ合宿も軌道にのった。能越自動車道の一部供用や能登有料道路の無料化もあり、多くの人に訪れていただきました。来年の抱負は、合併10周年を迎え次なる10年のスタートの年であり、一番大切な年だと思っている。平成27年には北陸新幹線金沢開業、氷見道路の全線開通などの整備も控えており、能登空港もある。七尾は、陸、海、空の交流基盤を手に入れると言う事であり、この好機を活かして来年の干支「馬」の如くしっかり駆け抜けたいと思っている。

②今年を言葉で言うとするれば、明るい兆しの「兆し」と言う字を挙げたい。

■子育て・子育て環境の充実について



質問・・・①七尾市の保育園・認定こども園の再編計画見直し…この計画の見直しは平成26年度末ですが、策定時と現在で保育園を取り巻く状況の変化はどうか。保育施設のあり方や再編計画の見直しについて。

②保育士の人材確保…近年、能登で就職を希望する新卒保育士が少なくなってきた。年度途中の保育士確保は困難であり、保護者のニーズに応えられない事から、常に不足分の保育士を補える体制づくりが求められる。

市長答弁・・・①就学前の児童数の減少は概ね計画通りに推移している。一方、過疎化が進む南北大呑や高階地区は、急激に出生数が減少している状況です。公立保育園を含め、運営を検討して行く必要がある。基本的な考えは、民間にできる事は民間の施設で願います。再編に当たり、この事を基本に臨機応変に児童数の実状を考慮しながら、再編計画にこだわらず適正配置に努めていく。

②法人立の保育園に於いては、定年や出産等で退職される方もいると聞いている。過日、皆様にお会いした時にお願いしましたように、退職される保育士や看護師の情報を、法人立保育園連絡協議会が共有し、各保育園のニーズに応じて雇用できるような仕組みを作るように検討し、協議会と今後調整して行きたいと思っている。

■シンボル制定について



質問・・・①市民意見募集の状況…七尾市シンボル等制定市民会議に於いて素案が出来上がったが、市民アンケート結果や意見募集の状況について伺います。②制定までの今後の流れと取り組みについて伺う。

市民生活部長・・・①シンボルは、それを思い描く事によって七尾を感じる事が出来る様なものを七尾市シンボル制定協議会で検討いただいた。市民アンケートは6月に、市内全世帯及び小中学生を対象に行われ、小学生788件、中学生934件、一般の方99件から意見が寄せられた。市民会議ではその意向を参考に、意見募集までに7回の会議を重ね、活発な協議が行われた。選定したシンボルは、花は「菜の花」、木は「松」、鳥は「カモメ」、魚は「ハチメ」でした。パブリックコメントは、11/1～11/22まで、公民館等公共機関33ヶ所及びホームページで行ったところ、意見提出者は54人、件数では83件の提案があった。花については、ツツジやサクラの意見もあったが、「菜の花」に賛成の意向が66%、木、鳥、魚の案についてはほとんどの意見が賛成の意向であった。パブリックコメントに寄せられた意見は、12/3に開催された市民会議で検討され、最終案が決定されました。

②意見での回答を、12月中旬までに情報コーナーやホームページで公表し、下旬に市民会議から市長に提言された後、3月議会に提案させていただく予定です。

南エリア(御祓中・朝日中)統合中学校

■追加議案…南エリア統合中学校(御祓中・朝日中)建設事業

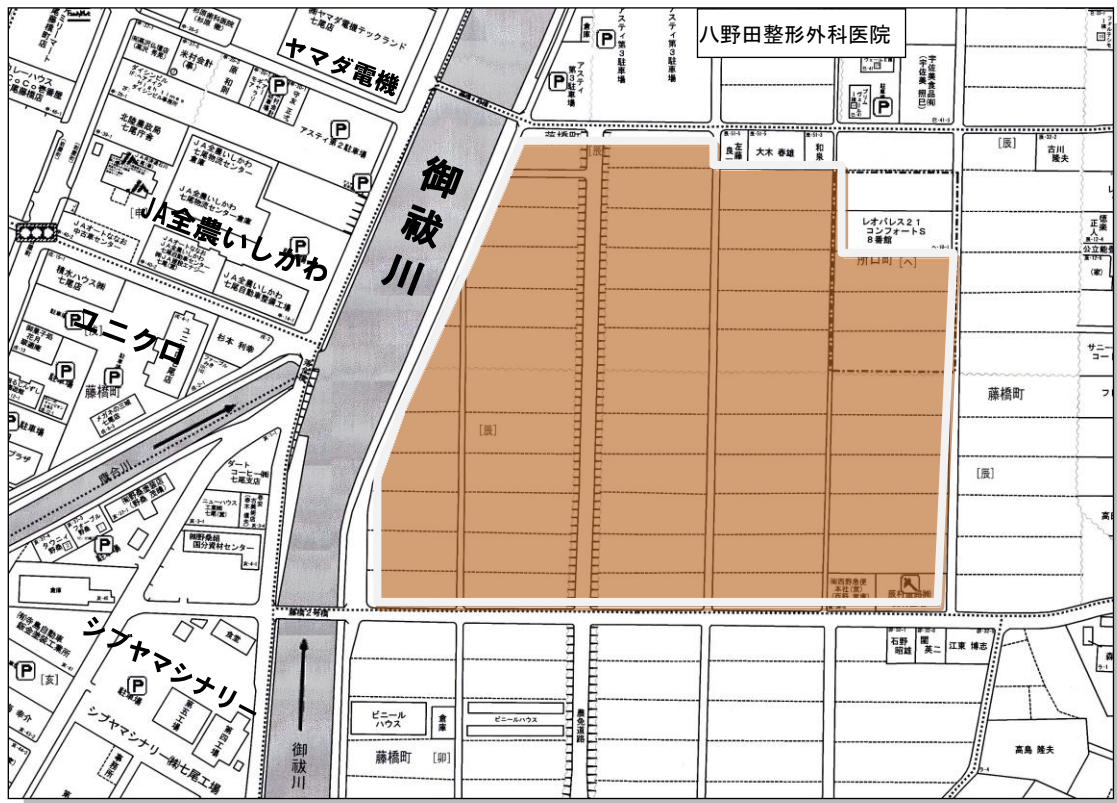
●主要事業

- 南エリア統合中学校建設事業費 3,000万円
 - ・用地測量ほか用地取得に必要な業務委託費 一式
- 南エリア統合中学校建設事業費【債務負担行為】 9億5,000万円
 - ・学校建設用地購入 物件移転補償費(建物) A=約45,000㎡ほか

	12月追加補正予算額	12月追加補正後予算額	対前年度比
平成25年度	3,000万円 (6億1,446万8千円)	339億2,944万円 (338億9,994万円)	△1.9%
平成24年度	28億7,433万7千円	345億7,196万6千円	+9.6%
平成23年度	6億972万4千円	315億5,040万3千円	+1.4%

●当面のスケジュール

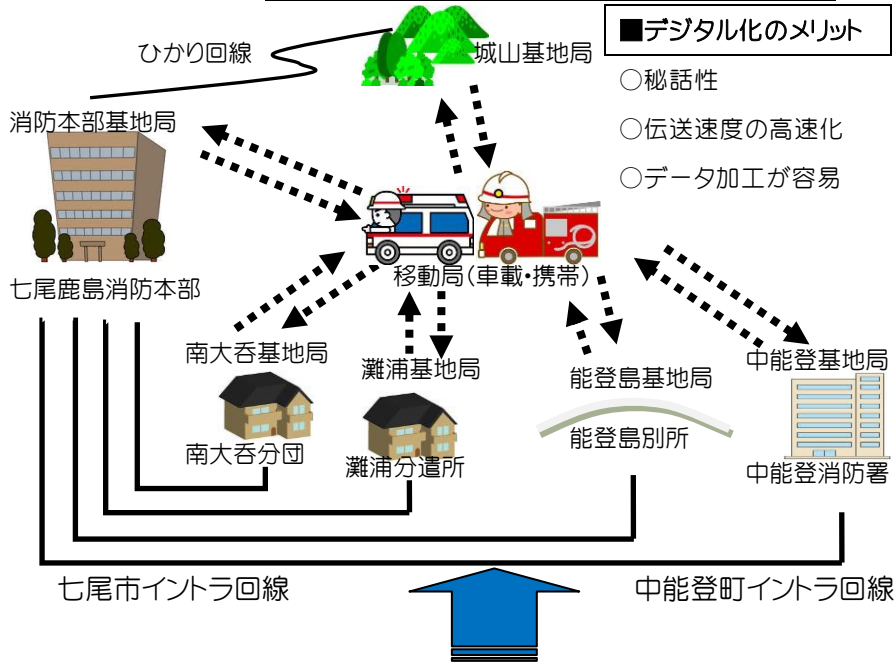
- 平成25年12月～ 埋蔵文化財試験掘調査
- 平成26年1月～ 用地測量、建物調査
 - 3月～ 農用地区域からの除外、土地売買仮契約
 - 4月以降 農地転用、議会議決後、土地売買仮契約から本契約へ
登記完了後、土地代金の支払い
- 平成26年度…設計プロポーザル、基本実施設計、用地造成
- 平成27年度…建設工事着手 ○平成28年度…建設工事完了



消防救急無線デジタル化整備事業

	第 1 期	第 2 期
整備年度	平成 24・25 年度	平成 25・26 年度
財 源	○緊急消防援助隊整備費補助金 ○補正予算債 ○緊急防災・減災事業債	○緊急防災・減災事業債 ○一般財源
整備内容	○施工監理 598 万 5 千円 ○本体整備 4 億 1,685 万円 ・無線基地局 (本部、灘浦、南大呑、能登島、中能登) ・車載無線 58 台 (本部・署 31 台、消防団 27 台)	○施工監理 113 万 7 千円 ○本体整備 7,887 万 4 千円 ・無線基地局 1 局 (城山基地局) ・簡易無線機 100 局 (本部・署 39 台、消防団 61 台) ・衛星電話 2 台 (七尾署、中能登署)
期別事業費	第 1 期事業費 4 億 2,283 万 5 千円	第 2 期事業費 8,001 万 1 千円
総事業費	5 億 284 万 6 千円	

消防救急デジタル無線通信系統図(今後)

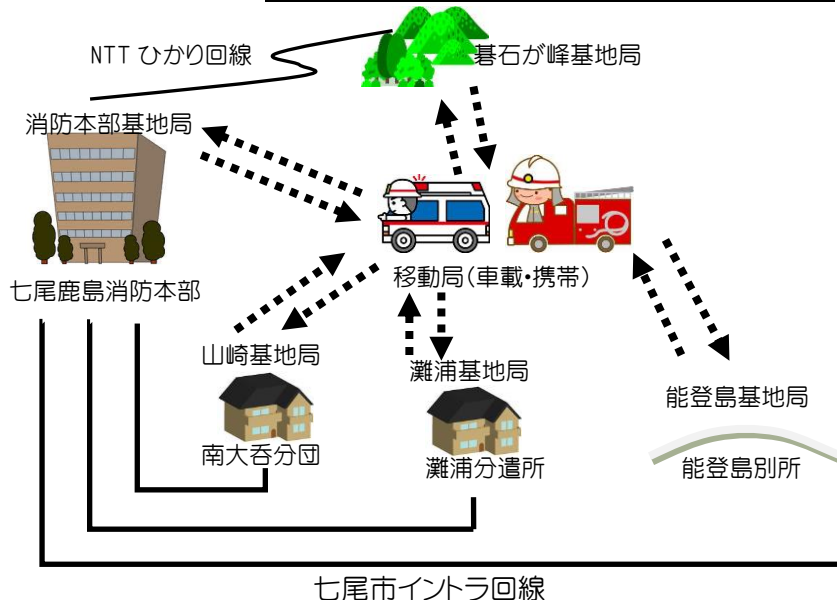


無線周波数	統制波 1	
	統制波 2	全国共通波
	統制波 3	
	主運用波	県内共通波
	活動波 1	消防隊用
	活動波 2	救急隊用
活動波 3		

バックアップ用無線局

和倉分署
能登島分遣所
中島分遣所

消防救急アナログ無線通信系統図(現状)



無線周波数	統制波	全国共通波
	主運用波	県内共通波
	活動波 1	消防隊用
	活動波 2	救急隊用
	活動波 3	サイレン用
	活動波 4	AVM 用

バックアップ用無線局

和倉分署
能登島分遣所
中島分遣所
中能登消防署

